



マイカラープログラムと還元率

LINE Payのマイカラープログラム

マイカラープログラムとはLINE Payでの支払いの度にインセンティブとして条件に合わせて0.5～2%のポイント還元が受けられます。

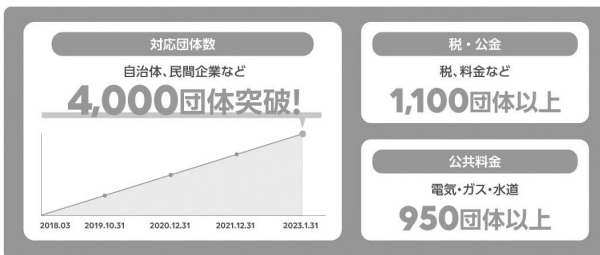
<マイカラー制度>				
カラー				
	グリーン	ブルー	レッド	ホワイト
基本付与率	2%	1%	0.8%	0.5%

LINE Payで支払マイカラープログラムの還元率

カラー	還元率	条件
グリーン	2%	支払金額が月10万円以上
ブルー	1%	支払金額が月5万～9万9,999円まで
レッド	0.8%	支払金額が月1万～4万9,999円まで
ホワイト	0.5%	支払金額が0～9,999円まで

上の表にあるとおり、条件に合わせて0.5～2%のインセンティブが設定されており、月の支払金額が多いほど還元率もアップします。

LINE Payで支払いできる公共料金



LINE Pay株式会社の発表によると、2023年1月末時点で、「請求書支払い」で支払える電気・ガス・水道料金を含む公共料金の請求書発行元は950団体以上としています。

毎月、確実に一定金額を支払うことになる公共料金ですが、コンビニ払いや口座引き落とし以外にPay PayやLINE Payといった一部のスマホ決済サービスで公共料金の支払いに対応しています。毎月、一定額を支払う公共料金は定期的にポイントを貯めるチャンスでもあります。しかし、現在のところ、Pay Payでは公共料金の支払いには対応しているものの、ポイント付与の対象外のため、便利だという以上のメリットはありません。そこで注目したいのがLINE Payでの公共料金の支払いです。LINE Payの「請求書支払い」は電気・ガス・水道などの公共料金の支払いができる機能ですが、LINE Payは条件に合わせて0.5～2%のポイント還元が受けられます。これはLINE Payの「マイカラープログラム」という機能で月の支払金額が多いほど還元率もアップします。この機能を利用して、これまでコンビニや銀行払いで済ませていた公共料金でポイント還元します。また、請求書支払いの手数料は請求書に「お客さま負担」と記載がある場合以外、基本無料です。

▶LINE Payの「請求書支払い」を利用すると公共料金を支払ってポイントを貯めることができます。

公共料金も キャッシュレスで支払おう



LINE Payで 公共料金を支払う

LINE PayはLINEの機能のひとつなのでLINE Payを利用するときはLINEをまず起動します。LINEを起動したら、画面下部のメニュータブの一番右にある「ウォレット」、次に

「LINE Pay」を順番にタップするとLINE Payの画面が開きます。LINE Payの請求書払いを開いてコードリーダーで請求書をスキャンして支払い手続きを進めます。

01.「ウォレット」を タップする



LINEを起動してメイン画面のメニュータブの一番右にある「ウォレット」→「LINE Pay」を順番にタップします。

02.「請求書払い」を タップする画像:27-02



LINE Payの画面が開いたら「請求書払い」をタップします。

03.「スキャンして支払う」 をタップする



「請求書払い」画面が開くので「スキャンして支払う」をタップします。

04.請求書のバーコードを スキャンして読み取る



バーコードリーダーが起動するので請求書のバーコードをスキャンして読み込みます。

05.「お支払い」を タップする



バーコードの読み込みが完了すると請求金額が画面に表示されるので「お支払い」をタップします。

06.支払い方法を選んで 「支払う」をタップ



支払い方法を選んでタップして画面下部の「●●円を支払う」をタップすると支払いが完了します。

POINT

公共料金の支払いも キャンペーンの対象

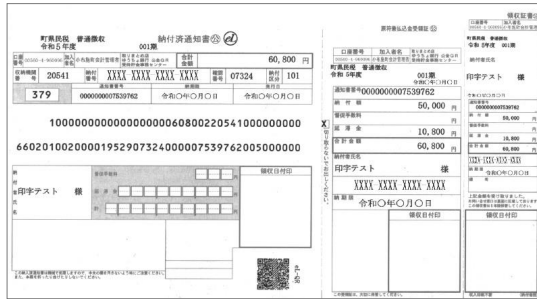
LINE Payでは不定期にポイント還元キャンペーン「ペイトク」が開催されます。たとえば、令和最初の「ペイトク」では支払い金額に対して最大で20%のLINEポイントが付与されまし

たが、公共料金の支払いも「ペイトク」の対象となるケースがあります。ただし、「ペイトク」は対象となる支払方法や店舗がキャンペーンによって違うので注意が必要です。



地方税統一QRコードを利用した納税が 利用できる主な税目

地方税統一QRコードを利用した請求書



地方税統一QRコードで納税できる主な税目
<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産税 ・自動車税 ・軽自動車税 ・住民税 ・不動産取得税
地方税統一QRコードで納税するメリット
<ul style="list-style-type: none"> ●24時間365日いつでもどこでも簡単に納税できる ●幅広い納税方法から選択できる ●地方税お支払サイトは登録なしでも利用できる ●支払い状況を確認できる

スマホアプリ納付できる 主な税目とメリット



スマホアプリ納付できる主な税目
<ul style="list-style-type: none"> ・所得税・消費税・法人税 ・相続税・贈与税・酒税・たばこ税 ・加算税・延滞税など
スマホアプリ納付のメリット
<ul style="list-style-type: none"> ●手数料が無料 ●届出書等の事前手続きの必要なし ●手持ちのPayマネーを使って払える ●スマホで簡単に住所氏名、税目や支払額などを入力するだけで払える ●家族や会社の国税もスマホアプリ納付できる ●納付完了メールが受け取れる

国税スマートフォン決済専用サイト

令和4（2022）年12月1日より国税の納付手段に各種Pay払いを使って納付する「スマホアプリ納付」が加わり、手数料は無料で納税額が30万円以下ならPay払いで手軽に国税を納付できるようになりました。利用できるPay払いはPayPay、au PAY、LINE Pay、メルペイ、Amazon Payなど、いずれのサービスでも「請求書払い」の機能を使って納付できるようになっています。また、地方税に関しては令和5（2023）年5月より地方税統一QRコード（e-QR）またはP番号（納付書番号）がある納付書に限り、QRコード決済で納付できるようになりました。地方税統一QRコードを利用した納税が利用できる主な税目は固定資産税、都市計画税、自動車税（種別割）、軽自動車税（種別割）です。利用できるPay払いは国税と同じくPayPay、au PAY、LINE Pay、メルペイ、Amazon Payなどです。ただし、Pay払いはパソコンでの利用はできないほか、領収書は発行されません。また、振替納税による引落しがされないように注意が必要です。

▼国税や地方税をスマホアプリ納付や地方税統一QRコードを利用した納税が利用できるようになりました。

国税や地方税も キャッシュレスで支払おう



税金を納付できる 主なPay払い



国税を納付できる主なPay払いとポイント還元率

決済サービス名	国税納付の可否	国税
LINE Pay	○	×(ポイント還元なし)
PayPay	○	国税スマートフォン決済専用サイトで支払うと0.5~1.0%還元
au PAY	○	クレジットカードでチャージして支払うと最大1.5%還元
d払い	○	国税スマートフォン決済専用サイトで支払うと0.5%還元
メルペイ	○	×(ポイント還元なし)
Amazon Pay	○	Amazonギフトカードを購入して支払うと最大5.5%還元
楽天ペイ	×(支払い不可)	×(ポイント還元なし)
ファミペイ	×(支払い不可)	×(ポイント還元なし)

地方税を納付できる主なPay払いとポイント還元率

決済サービス名	国税納付の可否	国税
LINE Pay	○	LINE Payに三井住友カード(VISA)を登録してチャージ&ペイで支払うと最大2.0%還元
PayPay	○	×(ポイント還元なし)
au PAY	○	クレジットカードでチャージして支払うと最大1.5%還元
d払い	○	×(ポイント還元なし)
メルペイ	×(支払い不可)	×(ポイント還元なし)
Amazon Pay	×(支払い不可)	×(ポイント還元なし)
楽天ペイ	○	楽天Edy経由で楽天キャッシュにチャージして支払うと最大2.7%還元
ファミペイ	○	JCBカードからチャージして支払うと最大1.0%還元

POINT

キャッシュレスで税金を支払う際の注意点

納付金額が30万円を 超える場合は利用できない

スマホアプリ納付ができるのは納付金額が30万円以下の場合に限ります。納付金額が30万円を超える場合は別の納付方法を利用しましょう。

ポイントが付与されない 場合もある

スマホアプリ納付でポイントが付与されるかどうかはPay払いによって異なります。たとえば、au PAYではスマホアプリ納付した場合でもポイント還元されません。事前に確認しましょう。

領収書が 発行されない

スマホアプリ納付で納税した場合は領収証書の発行はありません。領収証書が必要な場合は納付書を使って金融機関や税務署の窓口で納付しましょう。